

先進地事務調査について

1 目的

全国的に人口減少や少子高齢化が進行し、住民の生活課題が複雑化・複合化する中、本町においても包括的な支援体制の構築と、それを支える多機関協働の深化が喫緊の課題となっている。

こうした中、音更町においては地域特性を生かした住民参加型の福祉活動を展開しており、鹿追町においては組織横断的な体制整備と専門職の活用により、包括的な支援を実現している。

両町がどのような知見に基づき地域福祉を推進し、持続可能な支援体制を構築しているのか、その具体的な取組や施策について現地視察を通じて調査・研究を深め、本町の福祉施策の充実に資することを目的とする。

2 視察先

(1) 音更町 人口約 41,900 人

<社会福祉協議会との連携とボランティア活動の推進>

町社会福祉協議会へ事業を委託し、住民参加型の活動を軸に展開している点が特徴である。

(2) 鹿追町 人口約 4,800 人

<多機関協働と職員配置による包括的支援>

専門職の配置や多機関協働の推進に力を入れており、住民サービスの向上を組織全体で支える体制に強みがある。

3 日程

令和 8 年 5 月 22 日（金）日帰り

4 派遣委員等

No.	所 属 等	氏名	備 考
1	厚生文教常任委員会委員長	立川 美穂	
2	同副委員長	中村 和宏	

3	委員	西尾 一則	
4	委員	常通 直人	
5	委員	渡辺 洋一郎	
6	委員	橋本 和仁	
7	委員	中田 智恵子	
8	委員	小笠原 等	
9	議長	梶澤 幸治	
10	議会事務局総務係長	竹川 恭史	